

作家・郷土史研究者

## 田村 哲三氏



平成25年6月号から連載した「わがまちふるさと再発見!身近な史跡めぐり」が先月号で完結。連載100回を記念し、田村氏にお話を伺いました。



◆連載100号を越えた、今のお気持ちを聞かせてください

8年4カ月間、1号も休むことなく続けられたことに、我ながら驚いています。読者の方からの激励や編集スタッフの支援、NPO流山史跡ガイドの会からの情報提供などがあり、成し得たものと思っています。関係諸氏に心から感謝申し上げます。

◆原稿を書く際の苦労はありましたか

史跡の大部分は文献がないため、自分の目で確かめ、史跡の特徴を掴むことから原稿を書き起こします。文字として残るので、細心の注意を払うことに苦労しました。



史跡ガイドをする田村氏  
史跡ガイドの  
余のHP↓



◆流山の魅力、史跡めぐりの面白さはどのようなところですか

市内の史跡は100カ所にも及び、それぞれに違う歴史と文化、物語があります。流山本町や利根運河だけでなく、身近な神社や路傍の石物にも歴史と文化があり、それらに触れることができるのが、流山の魅力だと思います。

史跡めぐりはロマンの宝庫です。江戸時代の民間信仰なども知ることができ、自分だけの物語も紡ぎだせる。そこが史跡めぐりの面白さといえます。

◆コロナ禍はどのように過ごされていますか

ガイドの会は昨年3月より活動を中止しています。外出時間が少なくなり、デスクワークの時間がとれました。過去に連載した「身近な史跡めぐり」の見直しと書き直しを行い、書籍出版の準備を行っています。一方、会員有志でZoomによるオンライン会議



田村さんの執筆した書籍  
利根運河関連の書籍

◆新連載「流山のむかし」

新年から「わがまちふるさと再発見!流山のむかしを訪ねて」の連載が始まります。流山は旧石器時代の約3万年前から人が住んでいたことが、遺跡の発掘で確認されました。当時は寒冷期でしたが、次の縄文時代では温暖化が進み、市内の低地は海になります。そのような昔から近代に至るまで、人々はどうのよう生活していたのか、どのような文化を育んだのかなどを易しく解説したいと思っています。

読者の皆様には引き続き、ご愛読やご意見をお願いします。

### 流山で割引やサービスを受けられる

## 新選組の隊士になろう

流山ゆかりの新選組の歴史に触れたり、街並みを楽しみながら安全安心な街づくりに関心を持つてもらおうと、流山警察署は流山市や関係団体等と連携して「流山組安心安全局中法度」を作成し、賛同する隊士を募集しています。

隊士カードを受取り、飲食などの協力店で提示すると割引やプレゼントなどのサービスが受けられ、博物館に持参するとチーバクんと流山新選組がコラボしたオリジナル反射材がもらえます。

流山警察署や移動交番、及び啓発イベントなどで

流山警察署の伊藤博厚署長は「移住者や市民がこの機会に街の良さを知り住んでよかったと思われる安全安心な街にした」と語りました。

隊士カード・反射材はなくなり次第終了です。サービスは令和4年3月31日まで利用可能。協力店等の詳細は流山市役所のホームページで随時更新中です。

問流山警察署

☎7159-0110



隊士カードとチーバクんの反射材